

政務活動報告書

No. _____

令和6年7月29日(月)

久間 寿紀

(1) 研修先 東京永田町
古賀誠事務所 藤丸敏事務所

内容、ハナ東部の国道及び県道の
整備について。

指導内容 これから先、中山間地域の
生活基盤は、重要な課題である。
道路整備の早期着工を
目指すべき。
特に高速度道路に直結する整
備は必要で、直轄で考えて行く
べきである。

令和6年7月29日(月)

(2) 研修先 国土交通省自動車局旅客課客車
課長 澤田有司 主任 堤大地

内容、公共ライドシェアについて

- ① 公共交通手段を確保することが困難な
場合、市町村やNPO法人などが
自家用車を活用して、有償の旅客運
送を推進していく。

本年4月に課可
料金については、タクシー代の半分から
8割にグレードアップ。国からの
補助もあるため、ハサでも検討するべき
と思った。

代々、市議会も早急に執行部と
問題点を共有し、市民の交通手段の
確保を進めて、いかねばならぬ。
特に高齢化が進む山間部は、
待った無しの問題である。

令和6年7月30日(火)

研修先 東京都神楽坂 東京あわ之株式会社
部長 香岡達哉

- ① サテライトオフィス誘致? 定家対策
につとめる。
- ② 拠点も地方におくことにより
交流人へと増やし、次の企業誘
致を進める
- ③ 会社に向勤する時間をちがめ、
新しい働き方を考える。
- ④ 最近では、ディアルスクール事業に
取り組んでいる。

地方に来た子供家族の"地元
住み"という定住対策にもつな
がる。→空家対策

受け入れ学校の理解が必要で
ないかという問題でもあると思う。

企業誘致は、おなじみの問題では
あるかもしれないがこれからの
ハヤ市の人口流出を少しでも
止めるため、大いに進める"チャレンジ
して、いくべきだ"と思う。